

個別事業費	730 千円
交付金額	365 千円

地域の実情と課題

女性の就業率・正規雇用割合が高い反面管理職比率は低く、男性中心の労働環境が根強く残り、家庭において男性の家事・育児参画時間が短い。

従業員のワーク・ライフ・バランスや産休育休等の取得後も継続してキャリアを実現できる職場環境を整備するためには、職場の働き方の見直しや意識改革を行う管理職である「イクボス」の存在・推進は必要不可欠である。

事業の特徴

業務効率化・労務・女性活躍推進・DX等の経営課題を抱える市内企業3社に、専門コンサルタント(アドバイザー)を3回にわたって派遣。課題解決を図ると同時に、各企業に合わせたイクボス的経営の推進等を提案した。

事業の効果

イクボスデー事業にて職場の働き方の見直しや意識改革に取り組みたい企業にイクボス推進事業に取り組むきっかけを提供し、アドバイザー派遣にて各企業の課題に沿ったアドバイザーを個別に派遣することで、市内企業にイクボスの考え方や実践方法が浸透する後押しとなっている。

目的・目標

本市の実情と課題を踏まえ、イクボスを普及・推進しイクボス宣言企業の増加を目指す。

- 市内のイクボス宣言企業
目標 75企業(R6年度末で81社)
→達成

連携団体

- 市内のイクボス宣言企業(事業所単位)
81社(R6年度末時点)

今後の課題

企業が抱える課題やニーズを把握し、働き方改革や女性活躍の取り組みを後押しする事業を継続して実施していく必要がある。

専門家(アドバイザー)派遣事業

業務効率化・労務・女性活躍推進・DX等の経営課題を抱える市内企業3社に、専門コンサルタント(アドバイザー)を3回にわたって派遣。

①島田整骨院グループ 株式会社

【内容】DX化と業務効率の改善

システムの簡素化について、複数のシステムを介さず一元管理できるものを提案。また、エクセルでの煩雑な管理表の修正などを行った。



②東洋染工株式会社

【内容】社員同士のコミュニケーションを増やす

「生産性を高めるコミュニケーション」について講義を実施。管理職と一般職双方にコンサルティングを行い、その後グループワークを実施した。



③有限会社ダイケイ

【内容】働きがいのある職場づくりと人材確保

自社の魅力や強みについてグループワークを実施。特色を十分理解しやりがいを持っている社員が多いことから、リファラル採用を推進した。



▲報告書の作成・配布(新規啓発)